

# NPO法人 相馬フォロアチーム ニュースレター 1月号

発行日 平成27年1月1日



## 新年あけましておめでとうございます

皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年、当法人の活動拠点である「LVMH 子どもアート・メゾン」が正式にオープンし、当法人にとりまして記念すべき年となりました。この場をお借りして皆さまにお礼を申し上げます。また、皆さま方には日頃からフォロアチームの活動に多大なご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。本年もご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。1月号のニュースレターでは、『ふるさと相馬子ども復興会議・続編』、『そうまのクリスマス』についてお伝えしたいと思います。



\*\*\*\*\*

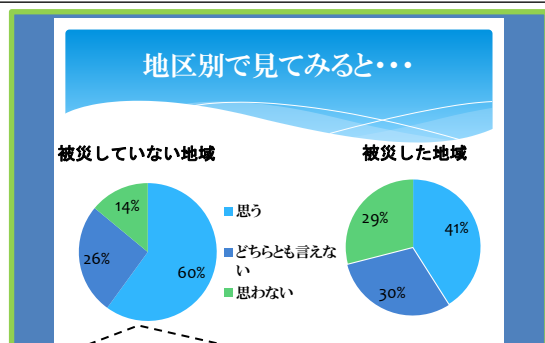
## ふるさと相馬子ども復興会議・続編

先月号で、2014年11月21日に相馬市で開催された『ふるさと相馬子ども復興会議』についてお伝えいたしました。今号では、その続編として、大変すばらしい発表をしてくれた相馬市立中村第二小学校の内容の一部をご紹介します（学校からはデータ等の使用許可を得ております）。

この小学校の子どもたちは、『未来への架け橋 ～新しい町づくりと人々の意識～』というテーマで、地震や津波、原子力発電に関する地域住民の意識調査を実施し、結果を発表しました（対象者：児童150名、保護者82名、地域の災害市営住宅に住む30名の方々）。

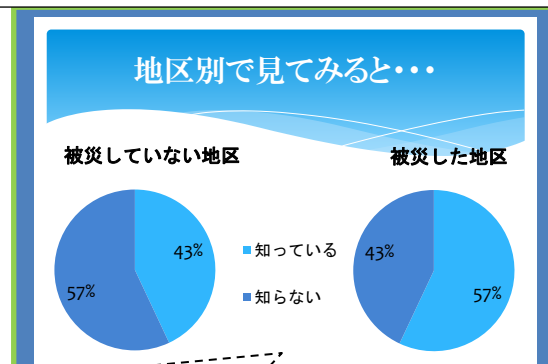
### Q「今住んでいる所は安全だと思いますか？」

（津波の被災地区とそうでない地区別に集計）



“どちらともいえない”という回答も安全面に不安を感じていると解釈すると、被災地区の約6割の方々が不安に思うのに対し、被災していない地区で不安に思う方は4割。隣接地域でも防災意識の差が大きい。

### Q「自分の地区の避難場所を知っていますか？」



「知っている」方が被災地区の約6割に達するのに対し、被災していない地区の方は約4割。ここでも差が・・・。

## 災害市営住宅に引っ越された方々の声…

### この住宅に越してきて良かったこと

- \*自立した生活が送れるようになった。
- \*プライバシーが守られている。
- \*地元の友人達が近くにいる。
- \*移動販売がありがたい。
- \*自分の母校の近くで嬉しい。
- \*友達が増えた。

### この住宅に越してきて困っていること

- \*家が狭いので、家族と暮らせない。
- \*すでにある仲良しグループに入りづらい。
- \*車が無いので、買い物に行けない。
- \*一人暮らしなので病気の時に不安。

\*災害市営住宅とは、震災で家を失った方々に市が住宅を建て、賃貸するものをさします。

## そして、子どもたちが考えたことは・・・

### 未来に向けて

- \*防災意識は高まってきているが、充分とは言えない。
- \*個人や家庭で、防災意識はまちまちである。
- \*避難の仕方や必要な情報などソフト面の充実をめざしたい。

私たちが『未来への架け橋』になる



\*\*\*\*\*



## そうまのクリスマス

相馬市内のイルミネーションです。12月に入ると、アートメゾンの近くの公園が写真のように華やかになります。



\*\*\*\*\*



### ～訪問活動日～



相馬フォロアーチームでは、カウンセラーが児童生徒の心のケア活動、教職員や保護者への相談活動を行っております。

場所	12月の訪問日等
中村二小	2,3,9,10,16,17日
中村二中	2,5,9,12,16,19日
磯部小	3,10,17,18,19日
磯部中	3,8,10,17日
日立木小	2,9,16日
山上小	1,8,15,22日
アート・メゾンでの相談等	12月:24件



### ～お問い合わせ先～



お子さんのことでご心配なことはありませんか？  
相談室にて、無料の相談を承っております。  
下記まで、お気軽にご連絡ください。

〒976-0042

福島県相馬市中村2丁目2-15

LVMH 子ども・アートメゾン

Tel:0244-35-6200 Fax:0244-35-6215

Mail:sft@soma-ft.org

HP:http://www.soma-ft.org/

Twitter:somaft